|  |
| --- |
|  |

／　（　　）「女性／男性だから〇〇」　瀬地山角　　語句調べプリント

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ⑦ | ⑥ | ⑤ | ④ | | ③ | | ② | | ① | |
| 担う　（　　　　）う | 再生産 | つきつめる | **✍**例文を作ろう | 抑圧 | **✍**例文を作ろう | 立脚（　　　　　　　） | **✍**例文を作ろう | 属性（　　　　　　　） | **✍**例文を作ろう | 延々（　　　　　　　） |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

２年　　　組　　　番（　　　　　　　　　　　　　　）

／　　（　　）　「女性／男性だから〇〇」　瀬地山角　　　振り返りシート

年　　　組　　　番（　　　　　　　　　　　　　）

◎単元目標

　　資料を手がかりに推論を働かせながら筆者の思考過程を検証する。

　　「男女の平等」「性別からの自由」などについて、自分の考えを広げたり深めたりする。

**✍**「女性／男性だから〇〇」という題名から思い浮かぶことを挙げてみよう。

①初読の感想、疑問点などを書こう。（　　　月　　　日　　　曜日）

②筆者の考える「自由」とはどのようなものか、整理してみよう。（　　　月　　　日　　　曜日）

③学習後の感想、疑問点の解消、新たな気づきや学びなどについて書こう。（　　月　　日　　曜日）

④目標の達成度（自己評価）　〈　できた　３　　ややできた　２　　できなかった　１　　〉

　　筆者の考える「自由」とはどのようなものかをふまえ、「男女の平等」

「性別からの自由」などについて、自分の考えを広げたり深めたりすることができた。

／　　（　　）　「女性／男性だから〇〇」　瀬地山角　　　振り返りシート

年　　　組　　　番（　　　　　　　　　　　　　）

◎単元目標

　　資料を手がかりに推論を働かせながら筆者の思考過程を検証する。

　　「男女の平等」「性別からの自由」などについて、自分の考えを広げたり深めたりする。

**✍**「女性／男性だから〇〇」という題名から思い浮かぶことを挙げてみよう。

授業の導入部分。生徒のレディネスがどの程度あるかを見る。

①初読の感想、疑問点などを書こう。（　　　月　　　日　　　曜日）

必ず日付を書かせ、記録。

ここでの疑問点を授業内で取り上げ、読み取りの中で解決していく。

②筆者の考える「自由」とはどのようなものか、整理してみよう。（　　　月　　　日　　　曜日）

筆者の主張を学んだあとに書く。授業プリントでは読解に沿って書く欄を設けている。そのため２回目

となるが、以前まとめきれなかったことや文章を書き直すことで推敲（調整）することもできる。

③学習後の感想、疑問点の解消、新たな気づきや学びなどについて書こう。（　　月　　日　　曜日）

論述における評価規準を設定し、その到達度で目標の達成度を自己評価する。

①の疑問点が解消された、あるいは新たな気づきや学びがあったという

記述、あるいは、初読の感想での気づきと同じであった場合もその再確

認ができたという内容であれば、主体性の評価をＢとする。

④目標の達成度（自己評価）　〈　３　できる　２　ややできる　　１　もう少し理解が必要　〉

　　筆者の考える「自由」とはどのようなものかをふまえ、「男女の平等」

「性別からの自由」などについて、自分の考えを広げたり深めたりすることができた。

／　　（　　）　「女性／男性だから〇〇」①　瀬地山角

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２年　　　　組　　　　番（　　　　　　　　　　　　　　　）

**✍　課題　□資料を手がかりに推論を働かせながら筆者の思考過程を検証する。**

１（　　　　）論　…　（　　　　　　　　　　　　　）　　ｐ

「女性だから〇〇」「男性だから〇〇」と役割をふることを、「　　　　　　　　　　　　　　　　　」という。

「男女の平等」と「性役割」の関係

「性差別」という事象

　　　　▼男性に認められている権利が、女性には認められていない。

　　　　▼指導的地位に就く女性の比率が圧倒的に低い。

　　　　　　　　↓

　　　　「属性」にもとづいて不利益な扱いを受けることを、近代社会は「差別」と見なす。

【資料１】

　　　憲法十四条「すべて国民は（　　　　　　　　　　　　　　）に平等であって、（　　　　　　）、（　　　　　　）、

（　　　　　　）、（　　　　　　　　　　　　　　　　）又は（　　　　　　）により、（　　　　　　　　）、（　　　　　　　　）又は

（　　　　　　　　　　　　　　）において、差別されない。」

◎先進社会の立脚点→「女」という属性が差別の理由となってはならない。＋「　　　　　　　　　　　　」

一方で…

🎤筆者の主張

**＝　　　　　　　　　　　　　　　　　＋**

〈具体例〉あらゆる局面において「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」が強制される

　　　　　　　　　　　↓

　　　　　　　　　個人の（　　　　　　　　　）が奪われている。→問題視

　　【資料２】

　　　男女共同参画社会基本法前文（一九九九年制定）

　　　「男女が（中略）性別にかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる

（中略）社会の実現」

◎まさに「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」に当たる文言

◎男性と女性が対等であるという定規とは別に、もう一本「　　　　　　　」という定規をもって考えることで、「性役割」の問題を男女平等の問題系の中に含めていくことができる。

／　　（　　）　「女性／男性だから〇〇」①　瀬地山角

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２年　　　　組　　　　番（　　　　　　　　　　　　　　　）

**✍　課題　□資料を手がかりに推論を働かせながら筆者の思考過程を検証する。**

１（　序　）論　…　（　問題提起　　）　　ｐ102～

「女性だから〇〇」「男性だから〇〇」と役割をふることを、「　　　性役割分業　　」という。

「男女の平等」と「性役割」の関係

「性差別」という事象

　　　　▼男性に認められている権利が、女性には認められていない。

　　　　▼指導的地位に就く女性の比率が圧倒的に低い。

　　　　　　　　↓

　　　　「属性」にもとづいて不利益な扱いを受けることを、近代社会は「差別」と見なす。

【資料１】

　　　憲法十四条「すべて国民は（　　法の下　　）に平等であって、（　人種　　）、（　信条　　）、

（　性別　　）、（　　社会的身分　　）又は（　門地　）により、（　政治的　）、（　経済的　）又は

（　社会的関係　）において、差別されない。」

◎先進社会の立脚点→「女」という属性が差別の理由となってはならない。＋「　性的指向　　」

一方で…

🎤筆者の主張

　　　　「男女の平等」は，「性別からの自由」を一緒に含めて考えなくては意味がない。

**性別　　　　　　　　＝　　　　　　平等　　　　　　　＋　　　　　自由**

〈具体例〉あらゆる局面において「　　女らしくあること　　　」が強制される

　　　　　　　　　　　↓

　　　　　　　　　個人の（　　自由　　　）が奪われている。→問題視

　　【資料２】

　　　男女共同参画社会基本法前文（一九九九年制定）

　　　「男女が（中略）性別にかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる

（中略）社会の実現」

◎まさに「　　性別からの自由　　　」に当たる文言

◎男性と女性が対等であるという定規とは別に、もう一本「　**自由**　　」という定規をもって考えることで、「性役割」の問題を男女平等の問題系の中に含めていくことができる。

【資料２】

男女共同参画社会基本法前文（一九九九年制定）※引用元…男女共同参画局ホームページ



／　　（　　）　「女性／男性だから〇〇」②　瀬地山角

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２年　　　　組　　　　番（　　　　　　　　　　　　　　　）

**✍　課題　□筆者の指摘する「異質平等論」の問題点を整理する。**

１（　序　）論　…　（　問題提起　）　　ｐ102～

◎男性と女性が対等であるという定規とは別に、もう一本「　自由　」という定規をもって

考えることで、「性役割」の問題を男女平等の問題系の中に含めていくことができる。

　　　　　　　　　　逆にいうと

　　　「異質平等論」

◎「自由」という定規を無視する　→　「男と女は違うけれど平等だ」という主張が成立。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　↓

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　性役割を固定する議論になってしまう。

＝手先が器用で細かいことに気がつく→家事や育児に適している。

＝腕力がある→力仕事に向く。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　統計的なもの

２（　　　　）論　…　（　　　　　　　　　　　　　）　　ｐ

　　　筆者の主張

　　「　　　　　　　　　　　　　　」を明確に（　　　　　　）しないと、本当の意味での（　　　　　　）は得られない。

　　▼「異質平等論」は、人々の（　　　　　　　　）を男と女という二つの箱に押し込めようとする、

　　　　かなり（　　　　　　　　）な発想に直結する。

問　「女性の視点を活かして」という言い方があるが、つきつめると異質平等論と同じ論理構成

になってしまうのはなぜか。

【資料３】ＯＥＣＤ生徒の学習到達度調査、ＰＩＳＡ

　　　数学と理科の点数について、教育学者の舞田敏彦が男子の平均点から女子の平均点を引

いてグラフ化したもの。

問　グラフから読み取れる「日本」と「スウェーデン」の違いは何か。

【資料３の提示に基づくと…】

→「女性は理系が苦手」だとしたら、それは生まれもったものではなく、

　　単に（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）にすぎない。

／　　（　　）　「女性／男性だから〇〇」②　瀬地山角

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２年　　　　組　　　　番（　　　　　　　　　　　　　　　）

**✍　課題　□筆者の指摘する「異質平等論」の問題点を整理する。**

１（　序　）論　…　（　問題提起　）　　ｐ102～

◎男性と女性が対等であるという定規とは別に、もう一本「　自由　」という定規をもって

考えることで、「性役割」の問題を男女平等の問題系の中に含めていくことができる。

　　　　　　　　　　逆にいうと

　　　「異質平等論」

◎「自由」という定規を無視する　→　「男と女は違うけれど平等だ」という主張が成立。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　↓

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　性役割を固定する議論になってしまう。

＝手先が器用で細かいことに気がつく→家事や育児に適している。

＝腕力がある→力仕事に向く。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　統計的なもの

２（　本・結　　）論　…　（　展開／具体例・まとめ／筆者の主張　）　　ｐ105　　３行目～

　　　🎤筆者の主張

　　「　異質平等論　」を明確に（　否定　）しないと、本当の意味での（　自由　）は得られない。

　　▼「異質平等論」は、人々の（　多様性　）を男と女という二つの箱に押し込めようとする、

　　　　かなり（　抑圧的　）な発想に直結する。

問　「女性の視点を活かして」という言い方があるが、つきつめると異質平等論と同じ論理構成

になってしまうのはなぜか。

　　　「女性の視点」というとき、女性の特性（本質）をもとにした発想に捉えられ縛られており、

　　　結局、女性だから〇〇という異質平等論のもとにある論理と同じになってしまうから。

【資料３】ＯＥＣＤ生徒の学習到達度調査、ＰＩＳＡ

　　　数学と理科の点数について、教育学者の舞田敏彦が男子の平均点から女子の平均点を引

いてグラフ化したもの。

問　グラフから読み取れる「日本」と「スウェーデン」の違いは何か。

日本＝数学的リテラシー男子が約１８点高く、科学的リテラシーでも男子が約１１点高い。

　 スウェーデン＝女子が数学的リテラシーが約３点高く、科学的リテラシーでも女子が約８点高い。

【資料３の提示に基づくと…】

→「女性は理系が苦手」だとしたら、それは生まれもったものではなく、

　　単に（　　日本社会が生み出したもの　　）にすぎない。

／　　（　　）　「女性／男性だから〇〇」③　瀬地山角

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２年　　　　組　　　　番（　　　　　　　　　　　　　　　）

**✍　課題　□筆者の考える「自由」とはどのようなものかをまとめる。**

【学習活動１】　　筆者の指摘する「異質平等論」の問題点を整理しよう。

「異質平等論」=「男と女は違うけれど平等だ」という主張

　　　　　　　↓

【問題点】

【具体例】

【学習活動２】　　筆者の考える「自由」とはどのようなものか、まとめよう。

　　問　「本当の意味での自由」とはどういうことか。

　　問　「『男』『女』という二つの箱に人間を押し込めること自体が問題だ」とはどういうことか。

　　　✍筆者の考える「自由」をまとめよう。

／　　（　　）　「女性／男性だから〇〇」③　瀬地山角

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２年　　　　組　　　　番（　　　　　　　　　　　　　　　）

**✍　課題　□筆者の考える「自由」とはどのようなものかをまとめる。**

【学習活動１】　　筆者の指摘する「異質平等論」の問題点を整理しよう。

「異質平等論」=「男と女は違うけれど平等だ」という主張

　　　　　　　↓

【問題点】

　　　　　　異質平等論は「平等」ではなく、統計的に分布されているだけであり、

　　　　　　そこに当てはまらない人を排除することになるため、結果的に性役割を

　　　　　　固定する議論になってしまう点。

【具体例】

　　　　　・女性は手先が器用で細かいことに気がつくから、家事や育児に適している。

　　　　　　男性は腕力があるから力仕事に向く。→両方とも性別は関係ない。

　　　　　・女子は理系が苦手、男子は理系が得意。

　　〔ＯＥＣＤ生徒の学習到達度調査、ＰＩＳＡ〕

　　　　　　世界には理数どちらの科目も女子のほうが点数が高い国があることの裏付け資料。

　　　　　　　↓

　　　　　　性別は関係ない。

【学習活動２】　　筆者の考える「自由」とはどのようなものか、まとめよう。

　　問　「本当の意味での自由」とはどういうことか。

　　　　　　性別にかかわりなく、自分の能力を発揮でき、個人として扱われること。

　　問　「『男』『女』という二つの箱に人間を押し込めること自体が問題だ」とはどういうことか。

　　　　　　さまざまな人間の能力や役割を性別により「男」「女」の二分類にすることが問題

　　　　　　であることはもちろん、生物学的な「男」「女」、法律上をわりあてられた性別も

　　　　　　当然として考えることは問題であるということ。

　　　✍筆者の考える「自由」をまとめよう。

　　　　　　筆者がこの文章で述べている「自由」というのは、「性別にかかわりなくある人が

　　　　　　自分の能力を発揮できる」、「性別にかかわりなく、個人として扱われる」という

　　　　　　ことを意味している。そして、そのためには「女／男らしくあること」が強制されて

　　　　　　はならず、統計的な分布や傾向などから導かれる異質平等論を明確に否定しな

ければ、本当の意味での自由は得られないと考えている。

／　　（　　）　「女性／男性だから〇〇」④　瀬地山角

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２年　　　　組　　　　番（　　　　　　　　　　　　　　　）

**✍テーマ**

**筆者の考える「自由」とはどのようなものかをふまえ、「男女の平等」「性別からの自由」**

**などについて、自分の考えを３００字以内でまとめよう。**

　　評価項目を「知識・技能」の分野、「思考・表現・判断」の分野に分け、

　　どのように文章を構成し、書き進めていけばよいのかイメージを与える。

　　　↓

　　作文内容に考えの深まりや新たな気づきなどの表記があるかと、

振り返りシートの目標の達成度の自己評価とで、主体性を判断する。



【自己評価の項目】　　　　　（できた３／まあまあできた２／できなかった１）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 思考  表現  判断 | | 知識  技能 | | | 観点 |
| ⑸自分の考えを、学習したことを根拠に具体的に書いて  いる。 | ⑷筆者の考えをふまえている。 | ⑶序論、本論、結論の構成になっている。 | ⑵誤字脱字、話し言葉に気をつける。 | ⑴一人称は「私」で書く。 | 評　　価　　項　　目 |
| ３　　２　　１ | ３　　２　　１ | ３　　２　　１ | ３　　２　　１ | ３　　２　　１ | 該当に〇をする |

／　　（　　）　「女性／男性だから〇〇」④　瀬地山角

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２年　　　　組　　　　番（　　　　　　　　　　　　　　　）

**✍テーマ**

**筆者の考える「自由」とはどのようなものかをふまえ、「男女の平等」「性別からの自由」**

**などについて、自分の考えを３００字以内でまとめよう。**



【自己評価の項目】　　　　　（できた３／まあまあできた２／できなかった１）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 思考  表現  判断 | | 知識  技能 | | | 観点 |
| ⑸自分の考えを、学習したことを根拠に具体的に書いて  いる。 | ⑷筆者の考えをふまえている。 | ⑶序論、本論、結論の構成になっている。 | ⑵文章の表現や表記、原稿用紙の使い方に気をつける。 | ⑴一人称は「私」で書く。 | 評　　価　　項　　目 |
| ３　　２　　１ | ３　　２　　１ | ３　　２　　１ | ３　　２　　１ | ３　　２　　１ | 該当に〇をする |